

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アグネス園 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		令和7年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月1日		令和8年1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・障害児支援の業務経験5年以上、10年以上の保育士が訪問支援員として配置されており、知識や技術を生かした支援を行っている。	・訪問先の受け入れ状況に合わせて支援内容やカンファレンスの方法を工夫している。月に1～2ヶ月程度の行動観察、定期的な訪問先職員とのカンファレンスを行う中で、一方的な支援方法の提案にならないように丁寧なフィードバックを心掛け、本人が安心して所属園で過ごせるようにしている。	・訪問支援に携わる職員がチームとなって様々な視点からより良い支援を見出すための会議などを積極的に行っていく。
2	・センターと併設されているので、相談室・児童発達支援のクラス担任とも連携を取りやすい。また、保護者のニーズに合わせてタイムリーに訪問支援を提供することができる。	・訪問先での様子や相談室がモニタリングで保護者から得た情報、児童発達支援クラスでの様子を共有して支援に取り組んでいる。	・アグネス園相談室以外の相談室を利用している併行通園児に対しても訪問支援の役割を伝え、ニーズのある児に繋がられるようにする。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて心理士や言語聴覚士が訪問できる体制を取っており、専門的知見から技術や知識を提供し、具体的な支援策を探ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の訪問が難しい時には、訪問先での行動観察記録を共有し意見をもらうようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による会議等の参加が難しい時には、zoomを活用し支援者会議などに参加する機会を設けていく。
---	---	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の兼ね合いもあり、扱える件数が限られている。特に学齡児の訪問は1件のみとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員に関しては実務経験を積み職員を育成している最中である。余裕のある職員配置ができるよう、人材の充実を園全体で検討していく。 ・就学後は、市が行っている移行支援があり、当法人で運営している訪問支援について認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での認知度が高まるよう、幼保小と関わりのある研修や会議に参加する機会を検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの実施方法について、現在は対面での実施が主となっている。zoom開催の環境整備は整っているが、実際には利用に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・zoom環境を整えることが困難な訪問先、保護者が多い。手軽に使えるテレビ電話等のツールの導入が必要なのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入可能なICT環境の整備を検討していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 アグネス園 保育所等訪問支援

公表日 令和8年2月19日

利用児童数 令和8年1月16日

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	20%			80%		支援に使用する教具は、アグネス園教材室に整備し、必要に応じて持参している。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	80%			20%		アグネス園及びアグネス園相談室と兼ねた、個室の面接室を整備している。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	80%	20%				こどもの状態に応じて、支援の頻度や時間について訪問先施設や保護者等と相談し、決定している。
適切 な	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	60%			40%		訪問支援員以外にも、管理者、児童発達支援管理責任者を配置している。また必要に応じて専門職が訪問に同行することもある。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					

支 援 の 提 供	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	80%			20%		毎回のカンファレンスや支援者会議にて、訪問先施設の方針や担任からの意向を確認し、保育所等訪問支援計画に盛り込んでいる。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	60%			40%		国の基準である保育所等保横紋支援ガイドラインに沿ってこどもの状態に合わせた具体的な支援内容を設定している。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	100%					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	80%	20%				訪問支援の様子(行動観察の記録)は、要点を絞って簡潔に保護者に伝えている。保護者からの気づきや、こどもの状態に変化が見られた時には、電話や面談で共有する機会を設け、課題についての共通理解を図っている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%						

明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					その場に居ないのに様子が目に浮かぶように伝わる。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	60%		40%			活動概要に関する情報発信は消極的だが、連絡体制等の情報や、業務に関する自己評価の結果など事業所の情報は、ホームページで公表している。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	60%		40%			緊急時の対応については、初回訪問時に訪問先施設と確認している。実際の場面で実践できるよう今後も連携を取っていく。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80%		20%			契約時にBCPと危機管理マニュアルを共有し、緊急時の対応と安全管理を踏まえた支援体制について共有している。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					訪問支援の先生が来てくれるのを楽しみにしており、より頑張っているようだ。

	28	事業所の支援に満足していますか。	100%					
--	----	------------------	------	--	--	--	--	--

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 2月 19日

アグネス園 保育所等訪問支援

利用児童数

令和8年 1月 16日

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中でも助言をもらえるので取り入れやすく、実際に取り入れていることも多くある。 ・こどもの今の様子に合わせた支援のアドバイスを図を用いてわかりやすく伝えてもらえて助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察において、各訪問施設の状況とこどもの姿をよく見極めてクラスの中でできそうなことを見出し伝えている。今後も訪問先施設の職員が取り入れやすい支援を提案していく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・園が求めていることを的確に見てアドバイスをもらえているので助かっている。 ・行動からこどもの気持ちを読み取り、より良い支援につなげていけるようにアドバイスをもらえて助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修の機会を確保し、知識・技術を高め、適切な支援を安定的に提供するとともに支援の向上に努める。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・適切に回答してもらえ、質問や相談がしやすいと感じる。 ・質問の度にとっても丁寧に答えてもらい助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先施設が相談しやすいような関係性や雰囲気作りを心掛けています。今後も意思疎通を図りながら信頼を得られるように努めます。

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員と一緒に現状把握できるとともに、今後の課題や目標を確認できてよかった。 ・アドバイスだけでなく、職員の関わりについてもたくさん励まして貰え、関わり方の学びに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先職員と個別支援計画を共有し利用児の課題を確認した上で支援に入らせて頂いている。またカンファレンスを通し、職員の困り感についても把握し訪問先施設でできそうな支援を伝えている。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・園では得られない情報（療育時の様子、保護者の様子など）を共有できるのでありがたい。 ・こどもたちの成長をたくさん感じられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の訪問支援が訪問先施設にとってプラスの充実した時間となるように、対象児が集団生活に適應すること、その他周囲の児や園全体においてよい環境調整ができるよう、今後も研鑽しながら訪問支援に努めていく。
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>					<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>・月2回の訪問支援、ならび月1回の職員間カンファレンスを実施していたことで、実態に即した支援内容や対応方針について、情報共有、連携を図ることができた。今後は就学を見据え、保護者の意向を踏まえながらさらに密に連携を図っていきたい。</p>					<p>・利用児の支援は現在所属する幼稚園・保育園・小学校に留まらず、児童発達支援・放課後等デイサービス・学童保育を含め上位学校へと続いていく。訪問先施設をはじめ、必要な関係機関と連携しながら、利用児と保護者の意向を引き継ぎ、成長・発達を見守っていく。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月19日				
アグネス園 保育所等訪問支援						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	100%			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			今後、訪問支援を利用される方が増えるようであれば、職員も増やしていけるといい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・年に1度事業所アンケートを行い、その結果をH・Pなどにて公表している。 ・アセスメント面談の他にも必要時には面談を実施している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・今年度は強度行動障害・児童発達支援管理責任者研修を受講した。 ・外部、内部研修に参加し、研修報告にて職員間で共有も行っている。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・保護者とのモニタリングにて、評価を行い、所属する保育所等の職員とともに作成に当たっている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		・初回アセスメント時に、園でねらいとしているところなども共有させてもらうようにしている。 ・カンファレンス等で、訪問先施設の意向を確認し、計画内容を共有している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・訪問担当、児童発達支援管理責任者、園長など、職員間で共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・2人で訪問する際には必ず役割や流れを事前に共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・訪問時に口頭や書面で共有し、振り返りを行っている。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%		・訪問スタート前に園の理念等を確認し、実施可能な支援を考えている。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%		・毎回、報告書にまとめ、保護者に報告もやっている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・少なくとも6か月に1回見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・支援シートを共に作成するなどしてスムーズな就学となるよう協力している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	100%		・年に2回行われている子ども部会に参加。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			・都合により直接会うことが難しいご家庭に対して、電話にてお話ししているが、対面(zoom)の手段も活用していきたい。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・アグネス園のペアレントトレーニングの案内をしている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%		・保護者の希望に応じて随時行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・保育所等訪問支援のみでは、父母の会や保護者交流は行っていない。 ・訪問単位ではないが、アグネス園での参観や懇談会等を案内している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	80%	20%		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%		・行動観察後にカンファレンスの時間を設けている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			